

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月18日(水)

事務事業		公平委員会運営事務		担当課	公平委員会	担当係	公平委員会	管理番号	68311	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	地方公務員法、地方自治法、深谷市公平委員会設置条例、深谷市勤務条件に関する措置の要求に関する規則、深谷市職員からの苦情相談に関する規則等					
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、公平委員会の運営に要する経費である。公平委員会は、3人で構成され、職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し、並びにこれについて必要な措置を講ずる機関である。								
目的 ※何のために		職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するためである。								
対象 ※誰・何を対象に		職員								
手段 ※どのように		職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査し、判定し、及び必要な措置を執る。								
成果 ※何を求めるか		公平委員会の運営により一層の適正を期し、職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するための体制整備をする。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	15	公平委員会費	公平委員会運営事務費	195,450
本事業の 主な業務		・管理職の範囲の決定に関すること。					・			
		・職員団体の登録に関すること。					・			
		・勤務条件に関する措置の要求に関すること。					・			
		・不利益処分についての審査請求に関すること。					・			
		・職員の苦情相談に関すること。					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		公平委員会の開催	公平委員会の開催	公平委員会の開催			
事業費	予算(現額)	553,000	450,000	496,000	569,000		
	決算額	113,080	153,680	195,450	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	113,080	153,680	195,450	569,000	
人件費	従事職員数(人)	0.80	0.90	0.80	0.80		
	人件費相当試算※	6,295,646	7,209,149	6,577,793	6,822,256		
	総事業費試算	6,408,726	7,362,829	6,773,243	7,391,256		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	公平委員会の開催回数	目標値	回						
		実績値		2.00	2.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定できない / 開催回数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	勤務条件に関する措置の要求があった件数	目標値	件						
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定できない / 要求件数						
	実績値の算出式								
成果指標 2	不利益処分についての審査請求件数	目標値	件						
		実績値		0.00	0.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定できない / 審査請求件数						
	実績値の算出式								
成果指標 3	苦情相談件数	目標値	件						
		実績値		0.00	1.00	0.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定できない / 実績値						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	公平委員会の開催は、勤務条件に関する措置要求、不利益処分についての審査請求及び苦情相談により開催回数が左右されるため目標設定ができない。 今年度は職員団体の登録及び職員相談員の指名など、委員会を2回開催した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	勤務条件に関する措置要求、不利益処分についての審査請求及び苦情相談件数は0件であった。
			評価者 事務局長補佐 小林秀人

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	勤務条件に関する措置要求、不利益処分についての審査請求及び苦情相談についてICT活用の余地がある。
			評価者 事務局長補佐 小林秀人